

平成31年3月27日
富山大学

2021年度（2020年度実施）入学者選抜について（予告）【第2報】

富山大学では、平成30年7月10日に、「2021年度（2020年度実施）入学者選抜について（予告）」を公表し、学部における活用方法の詳細を平成30年度内に公表するとしていたものについて、下記のとおり取扱いを決定しましたのでお知らせいたします。

なお、各選抜における配点については、大学入学共通テストの配点が示された後、2021年度入学者選抜要項及び学生募集要項において公表します。

1. 英語認定試験

英語4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）の総合的な能力を適切に評価するために、2024年度（2023年度実施）までは、大学入学共通テストの英語試験と併せて、英語認定試験（大学入試英語成績提供システム参加試験：大学入試センターにおいて、参加要件を満たしていることが確認された民間の資格・検定試験）を入学者選抜（一般選抜等（*））に活用します。

本学では、次の2つのパターンのいずれかにより活用します。

（1）加点

＜対象学部＞ 人間発達科学部，経済学部，医学部，薬学部，芸術文化学部，
都市デザイン学部

英語認定試験の結果をCEFRの対照表に基づく水準ごとに得点化し、大学入学共通テスト「英語」の配点に加点します。加点する点数の詳細は、2021年度入学者選抜要項等において公表します。

（2）高得点利用（英語認定試験の受検は必須としない）

＜対象学部＞ 人文学部，理学部，工学部

英語認定試験の結果は、CEFRの一定水準以上に相当する場合に限ってCEFRの対照表に基づいて得点化し、その得点と大学入学共通テスト「英語」の得点とを比較して、高得点の方を利用します。

英語認定試験の結果のCEFR対照表に基づく得点化の詳細は、2021年度入学者選抜要項等において公表します。

*2021年度入試（2020年度実施）から、「一般入試」を「一般選抜」、「AO入試」を「総合型選抜」、「推薦入試」を「学校推薦型選抜」に入試区分の呼称を変更します。

2. 国語記述式問題

＜利用する学部＞ 全学部

大学入学共通テストの記述式の段階別成績表示の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点して活用します。加点する点数は、2021年度入学者選抜要項等において公表します。

3. 調査書

主体性、多様性、協働性を評価するため、全ての入試区分において、調査書や志願者本人が記載する資料等を合格者の判定に活用します。本学では、次の2つのパターンのいずれかにより活用します。

(1) 調査書を面接の資料または書類審査として点数化し、合否判定に活用

＜対象となる入学者選抜＞

アドミッション・オフィス入試（理学部，都市デザイン学部）

特別入試（人文学部，理学部数学科を除く全学部学科）

一般入試前期日程（医学部医学科）

一般入試後期日程（医学部，薬学部，工学部，都市デザイン学部都市・交通デザイン学科）

(2) 調査書の記載内容について、5段階評価（A～E）を行い合否判定の参考資料として活用

＜対象となる入学者選抜＞

特別入試（人文学部，理学部数学科）

一般入試前期日程（医学部医学科を除く全学部学科）

一般入試後期日程（人文学部，人間発達科学部，経済学部，理学部，芸術文化学部，都市デザイン学部（都市・交通デザイン学科を除く））

*2021年度（2020年度実施）入学者選抜における各学部の活用方法については、別紙一覧を参照ください。

【本件問合せ先】

富山大学学務部入試課

TEL 076-445-6100

2021年度（2020年度実施）入学者選抜における各学部の活用方法一覧

学 部	1. 英語認定 試 験	2. 国 語 記述式	3. 調査書			
			AO入試	特別入試	一般入試 (前期日程)	一般入試 (後期日程)
人文学部	高得点利用※	加 点		5段階評価を行い合否判定の参考とする	5段階評価を行い合否判定の参考とする	5段階評価を行い合否判定の参考とする
人間発達科学部	加 点	加 点		面接の一部として点数化	5段階評価を行い合否判定の参考とする	5段階評価を行い合否判定の参考とする
経済学部	加 点	加 点		書類審査として点数化	5段階評価を行い合否判定の参考とする	5段階評価を行い合否判定の参考とする
理 学 部	高得点利用※	加 点	書類審査として点数化	【数学科】 5段階評価を行い合否判定の参考とする 【数学科を除く学科】 面接の一部又は書類審査として点数化	5段階評価を行い合否判定の参考とする	5段階評価を行い合否判定の参考とする
医 学 部	加 点	加 点		面接の一部として点数化	【医学科】 面接の一部として点数化 【看護学科】 5段階評価を行い合否判定の参考とする	面接の一部として点数化
薬 学 部	加 点	加 点		面接の一部として点数化	5段階評価を行い合否判定の参考とする	面接の一部として点数化
工 学 部	高得点利用※	加 点		面接の一部として点数化	5段階評価を行い合否判定の参考とする	面接の一部として点数化
芸術文化学部	加 点	加 点		面接の一部として点数化	5段階評価を行い合否判定の参考とする	5段階評価を行い合否判定の参考とする
都市デザイン学部	加 点	加 点	書類審査として点数化	面接の一部として点数化	5段階評価を行い合否判定の参考とする	【都市・交通デザイン学科を除く学科】 5段階評価を行い合否判定の参考とする 【都市・交通デザイン学科】 点数化

※英語認定試験の受検は必須としない